

第112号

舞岡地区連合・社協だより



マスコット
「こころん」

とつかハートプラン

＊戸塚区地域福祉保健計画＊

前回は『とつかハートプラン』の【区計画】を紹介し、今回は【地区別計画】を紹介します。

「住んでよかった！みんなが思えるふれあいのまち」をめざして…

【舞岡地区】は、緑地保存や市街化調整区域(都市計画法で市街化を抑制すべき区域)が大部分を占め、里山の景観や田園風景が広がり、舞岡川が流れ、舞岡公園には農業や自然に親しむ「舞岡ふるさと村」があります。活動や交流の場、舞岡地区センター、舞岡柏尾地域ケアプラザがあり、幼稚園から高校までの教育機関、高齢者や障害者施設、保育園等の福祉施設が多く点在しています。また、戸建住宅や持ち家の世帯比率が高く、居住歴が長い住民が多い地域です。そして生産年齢人口が減少し続ける一方、高齢者の人口は今後増加が予測されます。

＊戸塚区地域福祉保健計画＊

前回、第111号
に掲載

①区計画

②地区別計画

区全体で取り組む計画と、より身近なところで取り組む地区別計画が策定・推進されています。

取組1 地域の活動者を増やします

- ・地域の魅力ある活動を広く知ってもらう
- ・活動を長く継続できるよう後継者の育成
- ・「できる人が、できる事を、できる事から」始められる取組

取組2 地域の機関・施設・団体と連携し、身近な地域での活動を推進します

- ・地域活動・事業を継続しながら、活動を発展拡充させる
- ・地域と施設・学校等の交流により利点を活かした活動でより良い地域へ発展させる

取組3 住民が安心して生活できるよう緊急時の体制づくりを強化します

- ・自治会と連携・協力し「救急安心カード」「まいかホルダー」(事前に地域ケアプラザに登録)の普及や機能を充実
- ・要援護者の災害時の受入体制の強化
- ・地域防災訓練を実施し参加しやすい環境整備

取組4 誰でもが地域の住民として尊重しあい、支え合える関係を築きます

- ・相互の理解を深め、出会いや交流の機会、場を充実させる

次回は活動・取組を紹介します

交通安全対策部の活動

舞岡地区の交通安全対策部は現在15名で活動しております。連合運動会、地区センターまつり、お宮の祭礼時や大学駅伝等の交通整理に、また各町内会盆踊りの交通警備に従事しています。舞岡小・南舞岡小の交通安全教室、春夏秋冬の「全国交通安全運動」での学童誘導の他、数々のキャンペーンに参加し年間を通して啓発活動を行っています。

今年は、全てコロナ禍で中止となりましたが、現在一部では自発的に、学童誘導で街角にて活動しております。現在部員の一部はまだ現役にて仕事を続けながらの活動になりますので全員参加とは、なかなかいきません。仕事の合間をやりくりしながら参加するのが現状です。

以前、南舞岡・舞岡台・メガロン戸塚日限山地区も安全協会の傘下という話も出ましたが人数が多くなり荷が重く、新たな組織の構想もありました。今では組織より各々の立場で交通安全活動を続けるのが良いという思いです。10月より常任理事会が始まりました。少しずつ活動再開かなあとと思います。交通事故は年々減少傾向にありますが、お年寄りの事故が増えております。「一人一人がルールを守れば事故はなくなる」肝に銘じて生活したいものです。

交通安全対策部 部長 高山征一
(第一町内会)



施設の地域における役割 ～リハパーク舞岡～

リハパーク舞岡は「舞岡」の地で2010年より運営を開始し、今年で丸10年を迎えました。今回は施設の地域における役割について、3つの視点からお話したいと思います。

まず初めに、リハパーク舞岡は老健施設(介護老人保健施設)ですので「老健」としての機能を発揮することで、地域を支えることが大きな役割だと考えています。“住み慣れた地域にできる限り住み続けられるよう”、リハビリテーション等をとおして「在宅復帰」「在宅生活支援」を行っていくことが私たちに課せられた使命です。

2つ目は、施設の持っている「人材」などの資源を地域の方々に活用していただくことです。施設には、介護・看護・リハビリ・栄養・相談などの様々な専門職がおりますので、地域の講演会などの場で積極的に活用していただければと思っています。

3つ目は、地域に支えてもらう側としての施設です。歴史がある施設に行くと必ずと言ってよいほどたくさんのボランティアの方々が活躍されています。地域のボランティアの方々の存在なくして、地域に根差した施設になることは難しいでしょう。

次の10年。これからも地域の皆様を支え、時には支えられながら共に歩いていく施設を目指していきたいと思っています。



地域で活躍するボランティアの方々

舞岡町にある
リハパーク舞岡



介護老人保健施設 リハパーク舞岡 事務長 平野貴之

主任児童委員の活動

主任児童委員とは、特に児童福祉に関する事を専門に担当する民生委員です。舞岡地区には舞岡町・南舞岡に1人ずつ主任児童委員がおり2人で地域の方々のご協力をいただきながら、区役所・地域ケアプラザ・児童相談所・「とっとの芽」などの子育て支援機関や小中学校と連携し、子どもや子育て家庭を支援する活動を行っています。

この地域の活動の「子育てサロン」は舞岡地区センターで月1回、“親子の手遊び・歌遊びや絵本の読み聞かせ”を絵本講師の井上有子さん(舞岡町)にお願いし、ほのぼのとした楽しい時間を過ごし、子育て中のお母さんの交流の場にもなっています。

また「舞クラス」では“だれでもが生まれ育った地域で安心して暮らしていけること”を目標に活動しており、今年で7年目を迎えます。今年度は9月に本郷特別支援学校の永野先生をお招きし講演会「思春期のお話と性について」を開催しました。10月には「横浜チャレンジドオフィス」見学会を横浜市役所で実施、横浜市の障害者雇用に関して保護者とお話を聞きました。11月には親子で楽しい時間を過ごす「親子でポッチャ&クリスマスカード作り」を予定しています。

今後求められている小中学校の学習支援などにも対応できるような活動も視野に入れ、地域の子どもたちが健やかに成長し、保護者も楽しく子育てが出来るよう活動していきたいと考えています。



市役所訪問「横浜チャレンジドオフィス」見学



子どもに関する
講演会の様子

主任児童委員 山本美智代(舞岡町担当)